

と き 2020. 10. 28 (水) 晴れ・涼しく快適

コース 三島—大瀬崎発7:50—秋葉山灯籠8:27—西浦・久料9:14—ミカン選別の夫婦—井里絵(いさり)9:49—木負(きしょう)10:58—バス—木負・河内の大スギ11:30—バス—長浜城跡(昼食)12:15~13:20—安田旅館14:18—淡島—狩野川放水路15:14—三島

歩数 約35000 距離 約21km 参加 17名

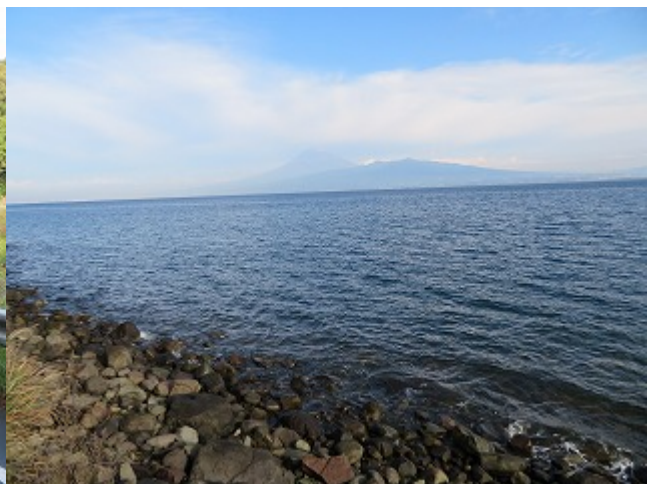
長い長い伊豆北海岸ウォーク道

勤労者山岳連盟の「山筋ゴーゴー体操」をKの指導で心身をほぐし、7:50、大瀬崎発。天気は良く爽やかだった。今日は、ほとんど上り下りがない海岸線の県道R17をひたすら歩くのみ。

北の左手に駿河湾が広がる。海拔0mからの富士山がひときわ美しい。前衛に愛鷹連峰。見慣れない角度で新鮮だった。右手は金冠山がそびえ、ミカン畑が広がる。



準備体操



1時間ほど歩き、江梨先で休憩。廃屋みたいな建物が右手にあり、海側に廃バスがあった。建物

は無人かと思ったが、二階の窓に上着が下がっていた。建屋の外下にトイレがあった。目ざとい会員が早速使用。

そのうち住人とおぼしき若い衆が犬を抱えて出てきた。トイレに行きたかったらしいが、皆が使っていて困った風だった。聞けばバスは昼間、お店として営業、ドリンクはいただけるとのこと。しかし、こんな辺鄙なところにお客さんが来るのか・・・？と思った。ま、好きな方がいつかもね。



秋葉山灯籠（文字が読めない）



廃バスサロン

更に進む。西浦・久料（くりょう）港では漁船が繋がれていた。軒先でご夫婦がミカンの選別をしていた。「極早生ミカン」が最後の出荷という。ダメなミカンを頂けるかと思ったが、そうは行かなかった。

西浦・古宇に「井里絵（いさり）」があった。本来、食事を出す店だが、現在はお休み。ただ、今ミカン・シーズンでミカン販売のみ行っていた。詰め放題＝300ーのミカンがあったが、残は少ない。そうしたら、店のオジサンが、「残りは食べて下さい」とのこと。皆さん、ワラワラと頂きました。お昼前で空腹を感じたところでとても美味しかった。ご馳走様でした。

店を辞し元気を戻し進む。立保付近で、何処かのオジサンが小舟で何かを採っていた。舟から長いサオを操り、メガネを覗いている。県道から近いので大声で聞けば、「ウニ」を採っているといった。タコも美味しいが・・・。（私はタコが好きだ・イカかタコかなら絶対タコだね（´艸`）

ようやく木負に着いた。大瀬崎から、ちょうど3時間掛かった。ここでバスの人となり、「木負



井里絵

・河内の大スギ」を見学に行く。スギは、近いと思ったが、何と標高約500mほどの山中にあった。入口まで、バスで延々と上った。

スギまで更に15分ほど上る。北面故、周りは暗くヒンヤリ陰鬱な感じで、スギの人工林が続く。その中に周りを睥睨するかのよう大スギが現れた。ネットでは、老木で衰えて見えたが、実物は立派なモノだった。

樹齢は約400年。縄文杉ほどではないが、決して見劣りしなかった。弘法大師が、修禅寺・奥の院開基の際、スギの根元に「虚空蔵菩薩」を安置したという。

バスで山を下る。県道までかなり下り木負に着いた。昼食時間を過ぎたので、そのままバスで「長



木負・河内の大杉

浜城跡」に向かう。「長浜城跡」は、近年、沼津市が整備した遺跡。標高39mだが、展望は極めて素晴らしい。

空腹で文句をいいながらも階段を上り頂上広場着。いい所だった。北の駿河湾の向こうに富士山が大きい。昼食は美味しかった。暑くもなく寒くもなく、丁度良い。ビアがグー。食後15分ほど昼寝。皆さんもゴロゴロ昼寝。サイコーに気持ち良い。ただ、女性軍のおしゃべりが五月蠅い。会話は、手話でやって欲しい。(´艸`)記念写真を撮って下山。





淡島

アジ開き



ムベ（郁子）

口野・狩野川放水路

午後のウォーキング。空腹が満たされ、昼寝のお陰で午前より快調。途中、太宰治が逗留し、「斜陽」を執筆したとされる安田屋旅館着。以前は見学できたが、今はコロナで駄目。残念。

淡島を左に見て飛ばす。Sさんがバッチリ付いて来る。元気が良い。偉い。途中の魚屋にアジが干してあった。美味しそうだったが車道の脇でちょっと嫌だね。右手の家の垣根に「ムベ」がたわわに実っていた。以前、高松山登山の際、食べたが、これは美味しかった。

今日の最終目的地、狩野川放水路まで長いと思ったが案外、近かった。本日は、長い長いウォーキングだったが、ようやくゴール。皆さんもワサワサと到着。無事終了し良かった。これで年内終了の目鼻が付きまして。お疲れ様でした。



長浜城跡

